

## 中京区のシンボル二条城を考える

# 二条城を区民の交流やにぎわいの場に

二条城周辺の景観を良くし、  
地元区民に愛される二条城にするために、  
様々なアイデアを収集中！

中村 伸之 さん

NPO 法人京都景観フォーラム



二条城のすぐ近く、城巽学区に住む中村さんは、二条城がもっと多くの区民に愛される存在になってほしいと願っています。そのためには、「交通標識や駐車場によって損なわれている二条城周辺の景観を改善すること」、そして、「二条城を区民同士や区民と観光客との交流の場とすること」で、地元区民にとっても身近な場所と感じてもらえる取組が必要と考えています。そこで、中京マチビト Café の場で色々なアイデアを募ってきました。



中京マチビト Café での様子

これまでの話し合いでは、例えば、ロケーションを活かしたコスプレ大会、現在は駐車場となっている場所に二条城建築当時の街並みを復元したマルシェや、二条城の昔の写真を持ち寄っての写真展を開催するなど、地元区民と観光客が一体となって楽しめるようなイベントのアイデアが出ています。



景観確認のためのまち歩き

中村さんは、現場を見ながら景観上の改善点を確認するまち歩きを行い、改善案や二条城前広場の活用方法についてのアイデアを取りまとめた提案書も作成しました。さらに多くの市民や関係者の意見を集め、「二条城再生フォーラム」を発足させたいと考えています。

### 取組んでみてのご感想

天皇の行幸や南蛮人の行列や町衆の風流踊など、洛中洛外図には二条城前のにぎわいが描かれ、祝祭的な空間だったことが分かります。今日も、二条城には世界中から人々が集まりますが、ここにもっと文化の交流があれば、訪れる人にとっても京都の人にとっても幸せな場所になると思います。海外の世界遺産活用の事例なども参考にして、市民に開かれた二条城のあり方を皆さんと共に考えたいと思います。

メール：nnnet@mbox.kyoto-inet.or.jp



中村 伸之 さん